



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <https://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 秀敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐古 慶治 (TEL) 022-385-7692
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月15日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	15,980	△2.0	678	△27.1	785	△27.1	440	△29.2
2025年3月期中間期	16,313	0.7	931	27.2	1,077	27.2	621	34.5

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 474百万円(△30.7%) 2025年3月期中間期 684百万円(29.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	12.65	—
2025年3月期中間期	17.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	32,957	20,537	56.0
2025年3月期	33,642	20,392	54.4

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 18,448百万円 2025年3月期 18,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
2026年3月期	—	5.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	9.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.6	1,900	△0.8	2,000	△7.9	1,200	△6.8	34.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	35,020,000株	2025年3月期	35,020,000株
2026年3月期中間期	223,985株	2025年3月期	242,925株
2026年3月期中間期	34,782,471株	2025年3月期中間期	34,764,933株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2025年11月12日に当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得水準が改善する中で、経済活動は緩やかな回復基調となりました。一方で、国際情勢の不安定化に加え、恒常的な物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当中間連結会計期間の売上高は159億80百万円と前中間連結会計期間に比べ3億32百万円(2.0%)の減少、営業利益は6億78百万円と前中間連結会計期間に比べ2億52百万円(27.1%)の減少、経常利益は7億85百万円と前中間連結会計期間に比べ2億92百万円(27.1%)の減少、親会社株主に帰属する中間純利益は4億40百万円と前中間連結会計期間に比べ1億81百万円(29.2%)の減少となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、90億62百万円と前中間連結会計期間に比べ2億84百万円(3.0%)減少、営業利益は6億85百万円と前中間連結会計期間に比べ2億5百万円(23.1%)減少しました。

ガス関連事業の状況といたしましては、石油類は工業用向けに需要が増加しましたが、酸素及び窒素は工業用向けの出荷数量が減少、液化石油ガスは工業用向けの出荷数量が減少したことに加え、輸入価格の変動に伴い販売価格が下落したことから、売上高は減少しました。

利益面におきましては、売上高減少に加え、給料、運搬費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益は減少しました。

エスプーマ関連事業

エスプーマ関連事業の売上高は、9億26百万円と前中間連結会計期間に比べ34百万円(3.8%)増加しましたが、営業利益は2億74百万円と前中間連結会計期間に比べ2百万円(0.8%)減少しました。

エスプーマ関連事業の状況といたしましては、食品用ガスが堅調に推移したことに加え、食品関連器材の需要が増加したことにより売上高は増加しました。営業利益は、食品用ガス容器の購入に加え、運搬費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより減少しました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、44億73百万円と前中間連結会計期間に比べ4億83百万円(9.8%)減少、営業利益は1億5百万円と前中間連結会計期間に比べ82百万円(44.0%)減少しました。

器具器材関連事業の状況といたしましては、溶接材料は自動車関連及び鉄鋼向けに減少、溶接切断器具は大型機械の受注が減少したことにより売上高及び営業利益は減少しました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、6億64百万円と前中間連結会計期間に比べ2億23百万円(50.6%)増加、営業利益は23百万円と前中間連結会計期間に比べ22百万円増加しました。

自動車機器関連事業の状況といたしましては、自動車部品メーカーの国内外の設備投資需要が増加したことにより売上高及び営業利益は増加しました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、7億23百万円と前中間連結会計期間に比べ2億1百万円(38.6%)増加、営業利益は1億42百万円と前中間連結会計期間に比べ54百万円(61.5%)増加しました。

製氷機関連事業の状況といたしましては、製氷・冷凍機械の大型物件及びメンテナンス工事が増加したことにより売上高及び営業利益は増加しました。

その他

その他の売上高は、1億28百万円と前中間連結会計期間に比べ23百万円(15.6%)減少、営業利益は24百万円と前中間連結会計期間に比べ7百万円(24.0%)減少しました。

その他の状況といたしましては、医療用ガス配管工事が減少したことにより、売上高及び営業利益は減少しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、329億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億84百万円の減少となりました。この主な要因は、ガス関連事業における水素発生設備新設等により有形固定資産が増加(7億52百万円)しましたが、水素発生設備の購入及び前期に実施した多賀城工場大規模定期修理に伴う支払い等により現金及び預金が減少(9億10百万円)、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の売上債権を回収したことで売上債権等が減少(6億62百万円)したことによるものであります。

負債は、124億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億29百万円の減少となりました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の仕入債務を支払ったことで仕入債務が減少(4億75百万円)、前期に実施した多賀城工場大規模定期修理に伴う支払い等により流動負債その他に含まれる未払金が減少(3億27百万円)したことによるものであります。

純資産は、205億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億45百万円の増加となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少(3億13百万円)がありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益を計上(4億40百万円)したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、85億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億10百万円(9.6%)の減少となりました。

営業活動で得られた資金は7億37百万円、投資活動で使用した資金は13億12百万円、財務活動で使用した資金は3億36百万円となり、現金及び現金同等物は減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の支払い額が減少したものの、税金等調整前中間純利益の減少及び売上債権等の回収額が減少したこと等により、前中間連結会計期間に比べ4億38百万円(37.3%)減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が増加したこと等により、前中間連結会計期間に比べ9億2百万円(220.5%)支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出が減少しましたが、短期借入による収入が減少したことにより、前中間連結会計期間に比べ1億28百万円(27.6%)支出が減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,495,192	8,584,386
受取手形、売掛金及び契約資産	5,562,421	4,438,178
電子記録債権	2,605,718	3,067,576
商品及び製品	1,296,448	1,245,278
仕掛品	27,089	28,526
原材料及び貯蔵品	142,943	149,559
その他	372,746	493,660
貸倒引当金	△12,978	△11,892
流動資産合計	19,489,581	17,995,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,673,185	3,830,323
機械装置及び運搬具(純額)	822,393	1,619,315
土地	5,476,178	5,461,178
その他(純額)	893,455	706,656
有形固定資産合計	10,865,213	11,617,474
無形固定資産	106,491	130,150
投資その他の資産		
投資有価証券	2,210,125	2,229,887
その他	1,000,877	1,021,537
貸倒引当金	△30,282	△36,845
投資その他の資産合計	3,180,720	3,214,579
固定資産合計	14,152,425	14,962,204
資産合計	33,642,006	32,957,478
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,463,685	3,637,488
電子記録債務	975,301	1,325,666
短期借入金	3,180,000	3,290,000
1年内返済予定の長期借入金	81,996	81,996
未払法人税等	380,464	339,067
賞与引当金	406,439	409,629
役員賞与引当金	28,045	—
その他	1,365,275	1,016,777
流動負債合計	10,881,207	10,100,625
固定負債		
長期借入金	86,008	45,010
役員退職慰労引当金	420,404	392,964
退職給付に係る負債	1,378,683	1,406,811
資産除去債務	45,952	46,024
その他	437,372	428,316
固定負債合計	2,368,421	2,319,128
負債合計	13,249,628	12,419,753

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	1,122,195	1,123,399
利益剰余金	14,928,632	15,055,319
自己株式	△61,058	△55,613
株主資本合計	18,250,769	18,384,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,449	64,077
その他の包括利益累計額合計	53,449	64,077
非支配株主持分	2,088,159	2,089,542
純資産合計	20,392,378	20,537,725
負債純資産合計	33,642,006	32,957,478

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	16,313,022	15,980,372
売上原価	10,914,735	10,654,966
売上総利益	5,398,286	5,325,405
販売費及び一般管理費	4,466,939	4,646,803
営業利益	931,347	678,602
営業外収益		
受取利息	535	5,069
受取配当金	19,087	9,716
持分法による投資利益	1,643	6,251
受取賃貸料	62,567	58,023
保険解約返戻金	68,491	182
その他	40,558	85,362
営業外収益合計	192,883	164,605
営業外費用		
支払利息	19,546	27,272
賃貸費用	24,160	20,295
その他	2,630	10,142
営業外費用合計	46,337	57,711
経常利益	1,077,893	785,496
特別利益		
固定資産売却益	2,605	6,551
助成金収入	23,938	—
特別利益合計	26,544	6,551
特別損失		
固定資産除売却損	19,870	35,952
固定資産圧縮損	23,938	—
特別損失合計	43,809	35,952
税金等調整前中間純利益	1,060,628	756,095
法人税等	392,908	290,939
中間純利益	667,719	465,155
非支配株主に帰属する中間純利益	46,009	25,072
親会社株主に帰属する中間純利益	621,710	440,082

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	667,719	465,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,983	3,886
持分法適用会社に対する持分相当額	△767	5,817
その他の包括利益合計	17,215	9,704
中間包括利益	684,935	474,859
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	634,703	450,710
非支配株主に係る中間包括利益	50,232	24,149

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,060,628	756,095
減価償却費	323,241	351,734
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,216	5,476
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,141	3,190
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,320	△28,045
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,557	△27,439
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,345	28,128
受取利息及び受取配当金	△19,622	△14,786
支払利息	19,546	27,272
持分法による投資損益(△は益)	△1,643	△6,251
固定資産売却益	△2,605	△6,551
固定資産除売却損	19,870	35,952
助成金収入	△23,938	—
補助金収入	△9,241	△7,499
保険解約返戻金	△68,491	△182
固定資産圧縮損	23,938	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,907,807	662,384
棚卸資産の増減額(△は増加)	△83,816	43,116
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,493,108	△475,831
未払消費税等の増減額(△は減少)	28,489	△44,211
その他	△3,226	△209,684
小計	1,699,654	1,092,867
利息及び配当金の受取額	23,393	19,689
利息の支払額	△20,384	△27,370
補助金の受取額	9,241	7,499
法人税等の支払額	△535,881	△355,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176,023	737,479

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△267,538	△1,187,774
有形固定資産の売却による収入	59,384	22,187
無形固定資産の取得による支出	△8,404	△44,280
投資有価証券の取得による支出	△261,604	△103,371
貸付けによる支出	△500	△1,200
貸付金の回収による収入	102	575
保険積立金の積立による支出	△87,088	△2,829
保険積立金の解約による収入	135,223	3,760
助成金の受取額	23,938	—
その他	△2,877	811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409,364	△1,312,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	265,000	115,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△5,000
長期借入金の返済による支出	△41,798	△40,998
リース債務の返済による支出	△54,208	△69,237
自己株式の取得による支出	△1	△19
配当金の支払額	△312,724	△312,569
非支配株主への配当金の支払額	△20,514	△23,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,247	△336,165
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	302,411	△910,806
現金及び現金同等物の期首残高	8,987,916	9,495,192
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,290,328	8,584,386

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ガス 関連事業	エスプーマ 関連事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	製氷機 関連事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	9,347,118	892,480	4,957,294	441,061	522,287	16,160,243
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,347,118	892,480	4,957,294	441,061	522,287	16,160,243
セグメント利益	890,512	276,650	187,456	1,039	88,064	1,443,722

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	152,779	16,313,022	—	16,313,022
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	152,779	16,313,022	—	16,313,022
セグメント利益	31,790	1,475,513	△544,166	931,347

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。
2 セグメント利益の調整額 △544,166千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ガス 関連事業	エスプーマ 関連事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	製氷機 関連事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	9,062,850	926,550	4,473,848	664,232	723,897	15,851,378
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,062,850	926,550	4,473,848	664,232	723,897	15,851,378
セグメント利益	685,104	274,380	105,061	23,125	142,206	1,229,878

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	128,993	15,980,372	—	15,980,372
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	128,993	15,980,372	—	15,980,372
セグメント利益	24,156	1,254,034	△575,432	678,602

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額△575,432千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。